



つるおか 宏 祥 鶴岡ひろよし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

圏央道は最重要な社会資本!

開通が待ち望まれる圏央道 長生グリーンラインで外房へ

昨年4月の県議選で、2期目の当選を果たした茂原市選出の鶴岡宏祥(つるおか・ひろよし)県議は、6月議会に続いて12月県議会でも、再選後早くも2度目の一般質問に登壇し、活発な議会活動を展開しています。今回は、平成24年度開通目標の圏央道について、地域にとつて欠くことのできない最も重要な社会資本整備であるとし、目標通りの開通を地域全体が待ち望んでいると訴えました。ほかにも、地域医療問題を幅広く取り上げるとともに、ドクターヘリの夜間運航の検討を迫るなど、市民にとっての安心の医療体制を求めました。



圏央道の工事現場を視察する鶴岡県議

圏央道

鶴岡議員 私はこれまで、一般質問のたびに圏央道について質問してきました。圏央道は、地域にとつて欠くことのできない最も重要な社会資本であるとともに、災害時における救援・物資輸送ルートの確保や迅速かつ円滑な物流の実現など、千葉県はもとより首都圏全体としても大きな役割を担っており、その開通を地域の人たちがこぞ待ち望んでいるところです。

そこでお伺いします。圏央道の東金から木更津間の整備状況はどうか。県土整備部長 圏央道は、東京湾アクアラインなどと一体となつて、高速道路ネットワークの一翼を担い、地域経済の活性化や観光立県千葉の実現を図る上で、大動脈として機能する極めて重要な道路です。

東金から木更津間の42・9キロ区間は、現在、橋梁19橋及びトンネル2カ所な

ど、平成24年度開通に向け全線にわたつて工事が進められています。県としては開通目標が達成されるよう、引き続き地元市町とともに事業の推進に協力してまいります。

要望 インターチェンジの名称を決定する際には、ぜひ地域の意見を聞いていただくよう要望します。

長生グリーンライン

鶴岡議員 圏央道にアクセスする長生グリーンラインは、圏央道の(仮称)茂原長南インターチェンジに接続し、県道茂原大多喜線、広域農道を経て二宮町に至る計画となっています。この道路が完成すれば、多くの観光客を圏央道から外房へと導くことができます。長生グリーンラインの整備状況と今後の見通しはどうか。県土整備部長 長生グリーンライン7・2キロについては、圏央道の(仮称)茂原長南インターチェンジと国道409号を結ぶ0・7キロを圏央道の開通に合わせて供用を図つてまいります。また、残る6・5キロの



県議会本会議場の壇上に立つ鶴岡県議

企業誘致は知事をトップに

鶴岡議員 茂原市を中心とする長生地域は、古くから電子関連や科学関連企業が集積する内陸工業の拠点として発展してきましたが、パナソニック茂原工場の休止が発表され、地域に不安が広がりました。しかし、その後、中小型ディスプレイ製造の統合会社「ジャパンディスプレイ」が、当該工場を買収し、新しい製造ラインを設置するという発表があり、ひとまず安堵しているところです。

今回のジャパンディスプレイの誘致に当たっては、自ら地元市長や県経済界代表とともに産業革新機構を直接訪問し、立地へ結びつけることができましたことから、今後も積極的にトップセールスを展開してまいりたいと考えています。

茂原市特集 12月県議会一般質問

圏央道の整備も進み、立地環境の優位性はますます高まっています。今後の企業誘致にあたっては、知事がリーダーシップをとり、

ドクターヘリの夜間運航を要望!

迅速な救急搬送の確保へ

鶴岡議員 長生地域のよう、救急救命センターがなく、医療過疎地域ではドクターヘリは救急搬送に欠かせない重要なもので、実際、ドクターヘリの要請件数は他の地域に比べて多くなっています。しかし、ドクターヘリの運航時間は、午前8時30分から日没30分前までとなっており、夜間飛行が認められていません。ドクターヘリが出動できない夜間に、迅速な救急搬送体制を確保するため、県ではどのような取り組みを行っているのか。

保健医療担当部長 救急搬送の所要時間を短縮するためには、救急隊が搬送先の医療機関を速やかに決定できるようなことにすることが大切です。県は、「傷病者の搬送及び受け入れの実施に関する基準」を策定し、7月から運用を開始したところで

また、ドクターヘリ事業を実施している日本医科大学千葉北総病院では、ヘリが出動できない夜間や悪天候時には、速やかに救急患者へ治療を行うためのドクターカーを運用しています。県ではこの

たび策定した地域医療再生計画に、ドクターカー事業を拡充するための支援を盛り込みました。ドクターカー事業の有効性を検証し、夜間等の迅速な救急搬送体制の充実に取り組んでまいります。



君津中央病院のドクターヘリ内を視察する鶴岡県議

両総用水の復旧状況を質す

鶴岡議員 全国有数の広大な受益面積を持つ両総用水は、東日本大震災によって幹線部分だけで7カ所の被害を受け、暫定的な応急工事が実施され、用水としての機能を維持することができました。しかし、この夏は節電への対応のため両総用水も節水することを余儀なくされ、4日に1日という通水で、水不足が発生しました。来年も本年と同様の節電が行われた場合、稲作への影響が懸念されます。



長生の森公園の整備状況を視察する鶴岡県議

被災後に暫定的な応急工事が行われたところですが、本復旧工事の状況はどうか。

農林水産部長 応急工事を実施した2カ所のうち、管の破損で漏水していた大網白里町の東部幹線については、管の交換が必要なことから、平成24年2月の完成を目標に本格的な復旧工事が進められています。

鶴岡議員 西部幹線の機能診断を行ったようですが、その結果と今後の整備をどのように考えているのか。

農林水産部長 両総用水の最末端に位置する西部幹

線について、国は平成21年度に機能診断調査を行い、全体延長5・3キロのうち約3・8キロは、老朽化による補修や補強対策が必要だとされています。

県としては、西部幹線の事業規模を勘案し、地元農家及び関係市町村の意向を踏まえ、事業実施に向け、改修計画を策定してまいります。

また、3百台分の駐車場計画のほか、イベント時などに対応するため、全体で7百台以上の駐車スペースを確保するよう努めています。

高齢者福祉計画の策定

鶴岡議員 急速に進む高齢化の中で、特に高齢世帯の約半数が、家族や地域とのつながりが薄れる中、日常生活や今後の介護に不安を抱く方が増えています。次期千葉県高齢者保健福祉計画の策定状況はどうか。

健康福祉部長 現行の高齢者保健福祉計画は、平成23年度で終期を迎えることから、計画策定・推進作業部会を設置し、次期計画の素案を取りまとめたところ

長生の森公園

この素案は、住みやすく安全で元気なまちづくりを基本理念として、高齢期に

地域の思いを県政に

●茂原市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください

鶴岡ひろよし 県事務所

〒297-0037 茂原市早野2130 TEL.0475(27)2601/FAX.0475(26)2839